



佐藤 喜典 議員  
(無党派)



公立能登総合病院

## 一般質問

### ■病院事業について

## 公立能登総合病院の今後について！

**質問** 病院改革に大切な根本的なことをどのように考えるか。働き方の見直しが求められる一方、退職者が後を絶たないとも聞かすが対策は。公立として、地域医療を守る立場からも、病院を存続していく決意を伺う。

**答弁** 地域の医療機関と役割分担しながら健全経営にも努めるとともに、僻地医療等の不採算部門や高度医療等を提供する公立としての役割を果たすと同時に地域医療を守り抜く強い信念のもと、職員の医療人としての誇りを醸成していきたいと考えている。

人員不足により、職員負担が増えている。対策について、看護部門は、就職説明会参加、就学資金貸与、交代制勤務の見直し、夜勤専従勤務導入、育児支援等の取り組み、中高校生を対象に病院見学や業務体験、パパママの職場を体験する幼児に対するの催事も開き将来の人員確保に努めている。調理部門は、多様な勤務形態の臨時職員を雇用し、人員不足の解消に努めている。他の職種についても、関連学校の訪問や、手当の見直しを行っている。

前事業管理者の路線を引き継ぎ、職員一丸となって経営改革に取り組んだ結果、4年前から連続黒字に転じており、今後、健全経営を維持し、働く職員の雇用を守りながら、能登地域の救急医療の最後の砦として、かつ地域住民が安心して高度専門医療を安全に受けられるように努めていきたい。

### 【その他の質問項目】

■公立保育園について

■カキ殻の資源化について

## 一般質問

### ■指定管理者制度について

## 効率的な指定管理者制度の運用と事務事業の民営化推移に向けて！

**質問** 制度導入の状況はどうか。効果的、経済的に市民サービス向上が達成されているか。行財政改革プランは自助、共助、公助の役割を明確にし、事務事業の見直しについて組織の合理化、効率化を図るとあるが、行政窓口事務事務の民営化に移行する対策はできているか。

**答弁** 条例上、指定管理者制度を導入することができる公共施設は、154施設あり、うち本年4月現在、62施設を指定管理しており、導入率は約40%、指定管理者数は32者である。指定管理者には施設の利用状況や収支等の報告書を提出させ、各担当課において、適切かつ確実なサービスの提供がなされているか等を確認するため管理運営状況評価を行い、結果は市のホームページでも公表している。必要に応じ業務改善などの指導を行っている。

住民サービス向上や管理運営費削減に向け、民間ノウハウを活用するものであり、行財政改革プランに掲げる健全で効率的な行政運営の推進に十分な効果を発揮しているものと考えている。地域が主体で指定管理する施設もあり、市民の利便性向上が図られる。

行政窓口の民営化についても、この12月から崎山、高階、北大吞、南大吞地区において、来年4月からは田鶴浜、中島、能登島地域において、法律で取り扱いが認められている郵便局での発行業務を行うこととなったが、サービスが低下しないよう配慮している。

### 【その他の質問項目】

■河川のハザードマップについて



桂 徹男 議員  
(灘会)



諸証明発行